

「皆さんに知ってもらうために・・・。」

今回は、書面会議となった「第1回学校運営協議会」の資料より保育園・小・中学校の経営方針の紹介と別海町で導入の検討をはじめている小中一貫教育についてお知らせいたします。

【保小中経営方針について】

保育園の経営重点目標

「やってみよう」「かんがえよう」「つたえよう」

○幼児期に遊びや生活を通して培い、各年齢に沿った姿を目指します。

育みたい資質能力の育成に向けて、次の5領域を大切にしていきます。

◇健康 ◇人間関係 ◇環境 ◇表現 ◇言葉

小学校重点課題

「学力と人間関係形成力の向上」（中学校との共有）

～ことばの力を活用し、理解力、思考力、表現力を高めながら

学び向かう主体性・主張性・協調性を育む～

中学校実践の重点

「学力と人間関係形成力の向上」（小学校との共有）

【思いやり3か条】の定着 ～生徒会を中心に生徒自らが考えたスローガン～

① 物を大切にする ②あいさつをしよう・返そう～人間関係を大切に～

② 何事にも挑戦する気持ちを大切にしよう

ご覧いただいてわかるように、どの校種でも人間関係の形成に重きをおき、そのための手立てとして伝えあう気持ちを大切にした教育活動を経営の方針にしています。

【小中一貫教育の説明会より】

6月13日に、小中一貫教育の説明会（委員長・副委員長、コーディネーター、事務局出席）が行われました。小中一貫教育とはどのようなものなのか？説明会で示された資料から一部抜粋してみます。

小中一貫教育の考え方〔説明会資料より抜粋〕

「小中一貫教育」とは、小中学校が情報交換、交流することを通じて、小学校から中学校への円滑な接続を目指す「小中連携教育」のうち、小・中学校が『めざす子ども像』を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を行う。

別海町教育委員会としては、準備が整った地区から令和8年度にスタートする見通しのもと、全学校区で小中一貫教育を導入することを目指し今後検討を進めていくこととなりました。

これを受けて、中春別地区でもCS運営協議会を軸として、保護者の皆様、地域の皆様と話し合いをしながら、中春別地区にとってよりよい小中一貫教育の在り方について検討を始めていきます。

今後の動きについては、このシリーズ等でお伝えしてまいりたいと存じます。